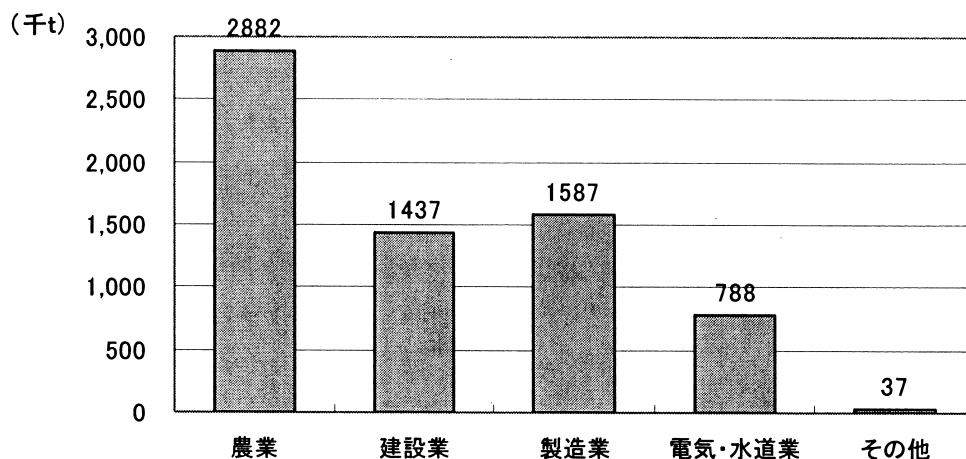


② 業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、農業が 2,882 千 t (43%) で最も多く、以下、製造業が 1,587 千 t (24%)、建設業が 1,437 千 t (21%)、電気・水道業が 788 千 t (12%) となっています。

なお、動物のふん尿や汚泥等は、排出事業者によって中間処理したり再生利用されるため、搬出量で見ると建設業が最も多い業種となっています。

(図 2-12) 業種別排出状況 (平成 12 年度)



③ 地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、菊池地域が 1,278 千 t (19%) で最も多く、以下、熊本地域が 1,024 千 t (15%)、八代地域が 913 千 t (14%) となっています。

(図 2-13) 地域別排出量 (平成 12 年度)

